





キーを入れエンジンをかけ、クラッチをつなぎアクセルを踏み込む。

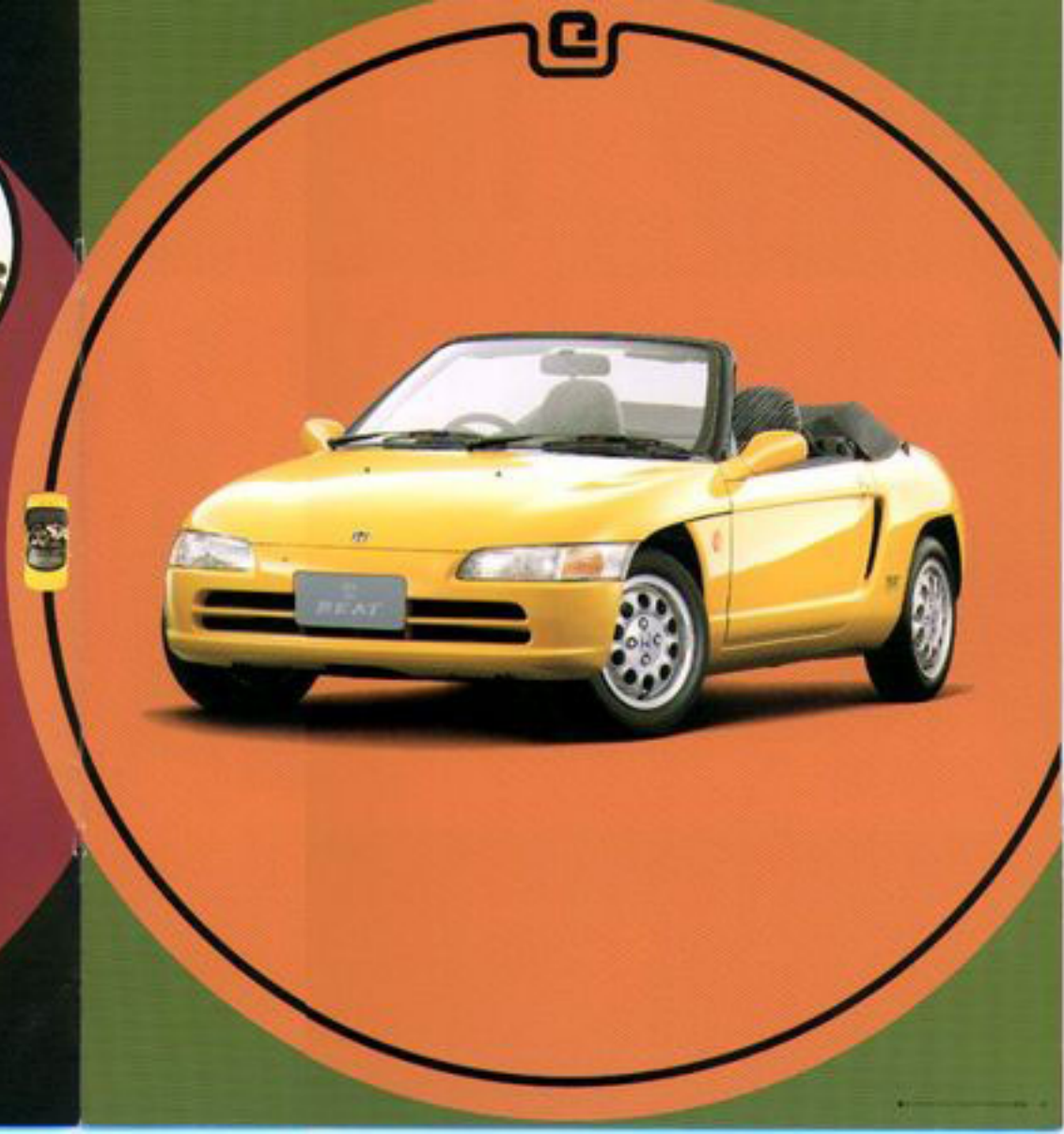
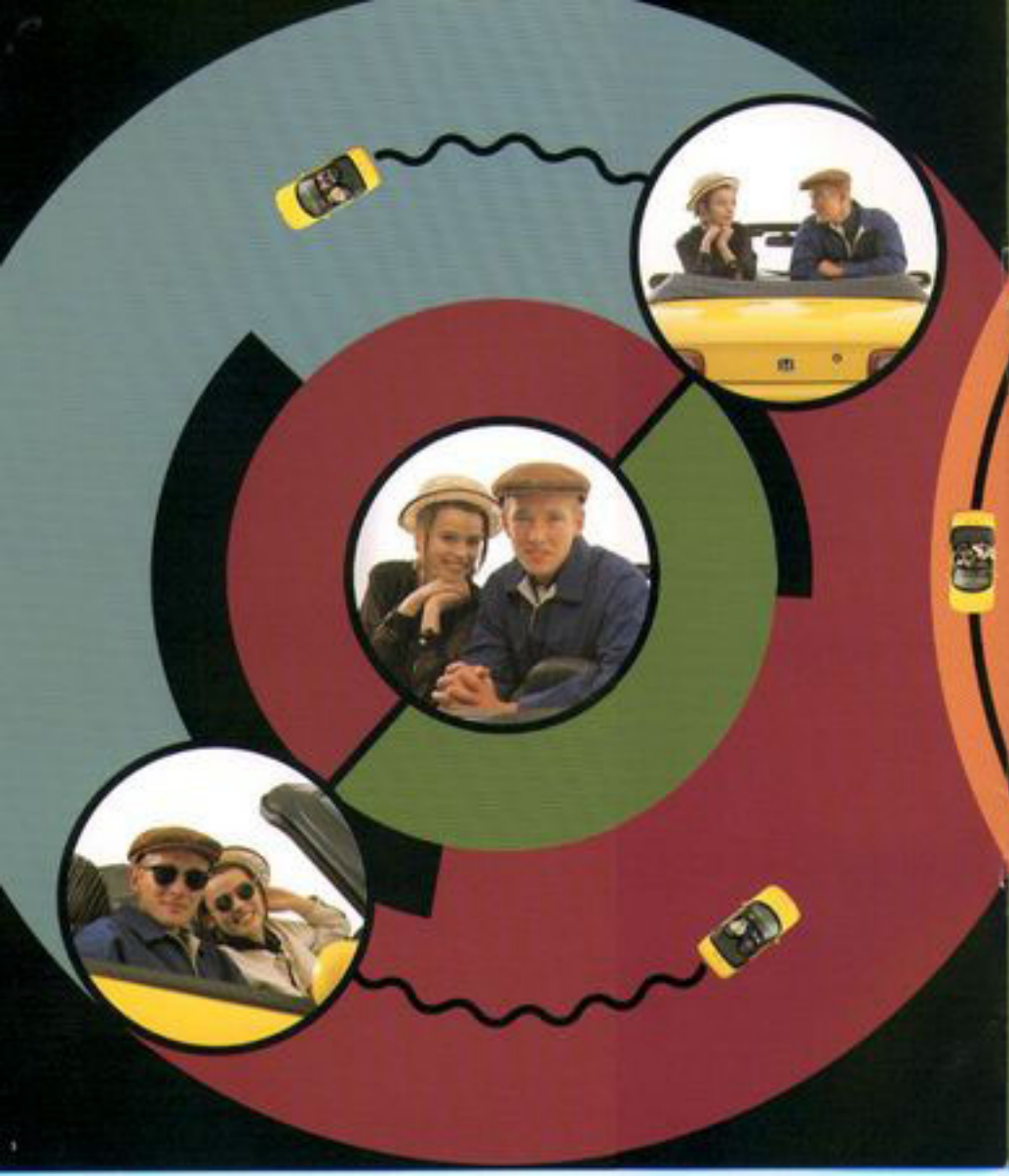
ふつうのクルマと同じように、ドライブをはじめて下さい。

違ってゐるのは、景色が流れはじめてから。

セダンやクーペや、いままでのオープンカーでは味わえなかった、新しい通りの世界をプレゼントします。

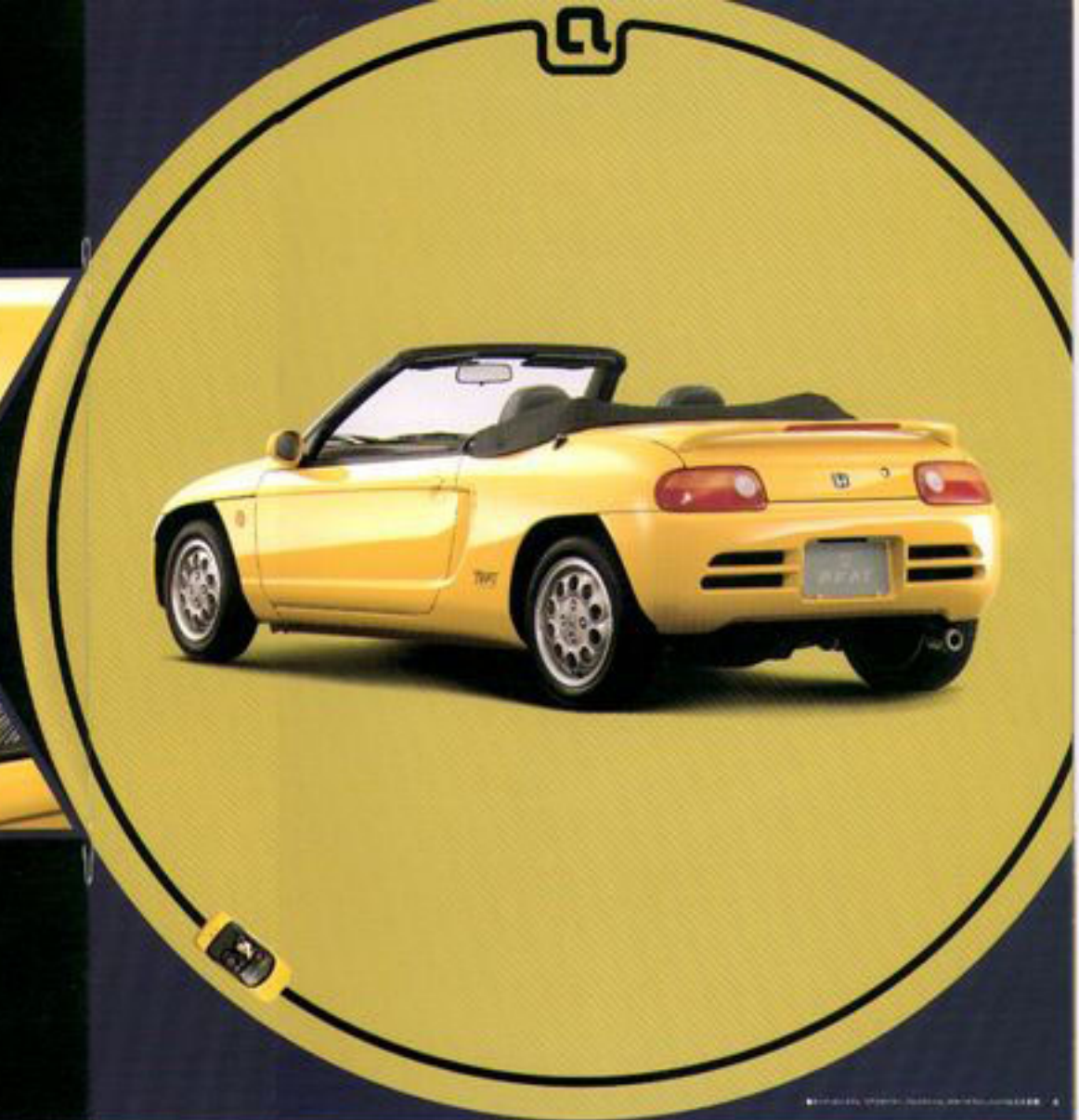
パーソナルコンピュータ「ビート」誕生。







Multiple engine options  
 customizable body styling  
 1000cc 1.2 liter engine  
 a whole lot of fun  
 follows you front and rear view



Il motore è a benzina  
e ha una cilindrata  
di 1.8 litri.



Il cambio è a  
manuale e ha  
5 marce.





Three individual meters. Power windows. Bucket seats.  
Air conditioner.



既AT(オート), 従々なる自由さを獲得させたクルマ、  
小さなオープンボディのなかで、しっかりと身体を支える  
バケットシートが立つ、鋭く安定したポジション。この構構  
にあって、高剛度エンジン心地よいメカニクスと、シッ  
ップな佇まいのデザインも個性感をあまぎで感じられる。  
気持よく走り出すと、見え出し、ハンドリングも、いままでに  
はなかった平穏さ。この面白さは、言葉ではなかなか説明  
できなくて、乗っている人がわかる楽しさ効果なのです。  
従々なる自由さを獲得させたクルマ、そのシートに、ゼ  
リ身体を預けてみて下さい。きっと大好きになります。

開放的なキャビン、真のよれあり開放感を大切にしました。  
風を断じながら走る駆体。これほどハイテクにもなる人がクルマ  
に対して持つひとつの価値観でしょう。セッター(オー  
プンボディ)のだから、別ATもそんな開放的な気分をイン  
テリアに取り入れたいと考えました。インパネとコンソ  
ールを空襲させたためスローインパネを採用し、運転が加  
減感とともにすっきりとした広さ感をもたれたゆえのため。  
配飾も軽快なイメージのファーターに、インパネから後立  
させた12スピーカーも、オープンならではのデザインです。  
そして何より大切にしたのは風。オープン空間も風が充

満ちまくるよう、フル  
フロントウィンドウの傾  
斜角と構造をじっくり検討し、最適なバランスを選んで  
います。エアコンディショナーは標準装備、冷気も快適な  
走行が楽しめるよう、ヒーター性能も充分に考慮しました。  
またメーターやスイッチ類は防塵処理も、しっかりと防水  
処理も施しています。できればいつも風を閉じて暑やかに  
走って欲しい。既ATは、そんな思い  
が込められたクルマ、インパネにも  
可変な変更が施されています。



## 楽しいドライブは、シートベルトの正しい着用から。

ドライバーとクルマの両者の関係は、まず「安全」という大きな支えがあってはじめて成り立つもの。いつでも安全で快適なドライブをお楽しみいただけるため、シートベルトの正しい着用をお願いします。

ホンダのクルマづくりの基本にあるのも、確かな安全性をのぞく技術姿勢。HEATにも、SRSエアバッグシステムの採用や、シートへの最新材質使用のほか、さまざまな視点から安全性に配慮を致しました。



SRSエアバッグシステムは、あくまでもシートベルトを前提とした状態で効果を発揮します。したがって、その効果は確かなシートベルトの正しい着用によって初めて発揮されることも、ご承知ください。

●ホンダ独自のエアバッグシステム(運転席側SRS)が装着されたシートベルトを補助し、バックシートの傾斜が急激な場合にもより安定した姿勢から乗客を保護し、乗客の傷害を軽減するシステムです。シートベルト、インフレーター、エアバッグ 駆動装置はホンダエアバッグシステム専用のエアバッグコントロールユニットに組み込まれています。

●シートベルト締め忘れ警告灯(運転席側)  
●シートベルトストラップラングリアップスロアザー



- 7エアロ
- 最新材質の座
- 4点式シートベルトアップ
- 3点式エアロコントロールストラップ



シートベルトを装着、あなたのイメージに、どこまでも最適なクルマです。クルマを思いのままに操縦できることの快楽は、HEATがめざした趣向は、まさにそれです。誰も負かぬ、誰も負けないクルマの運動性、その中心部に配した1.8リットルVTECエンジンを採用したのも、あなたの想像にどこまでも最適なコントロール性を求めたからでも、7点乗車時では、という優れた前後重量バランス、心と体いっしょに位置、クルマの動きが、いつもあなたの感覚にぴったりフィットして「これも、シートベルトアップアジャスト、そのおかげこそは、まるで乗客の一部のようです。



## CONNECTION

世界初のコクピット/フルオープン/モックアップを完成したら、1.8リットルVTECエンジンは高いコントロール性を定めたHEATに比べて、ボディ剛性なども大切な性能の基準です。なぜなら、土台であるボディがしっかりしていないと、ギアポジションの正確な動きがスポイラブル、セーフティの機能もたいへん落ちてしまうから。ボディ剛性の高さは真実を証明です。HEATに与えたのは、最新のコンピュータ解析技術も駆使して設計された、シートベルトは世界初のフルオープン/モックアップ、フロントパネルのボクシング面設計や、サイドエアリブ配置構造にすることで、数十の工夫が詰まったこの専用ボディは、軽量化や安全スペースを確保にすることに努めて高い剛性を実現しています。

●7エアロ ●最新材質の座 ●4点式シートベルトアップ ●3点式エアロコントロールストラップ



MTREC 12 VALVE 1.8L 16 VALVE ENGINE (1.8L 16 VALVE ENGINE)  
 最大出力 64PS / 8,100rpm  
 最大トルク 6.1kgm / 7,000rpm  
 燃費 (90km/h) 17.3km/l  
 燃費 (120km/h) 27.0km/l



シフトフィールが、大きく変わらぬマニエール、クラッチペダルとシフトレバーを駆動し、思いどおりにギヤをシフトしてゆく快楽は、クルマ好きにはこれと代りない。速の速、HEATはシフトレバーを40mmと極めて短く設定し、独自の技術とノウハウで、ギヤに充分な剛性と剛性を保ちました。手置をぐんぐん上げてギヤをくぐり抜けるシフトフィールが、心ゆくまで楽しんでください。ギヤ箱も、ギヤでエンジンがギヤシンクロを容易に通過し、このことでギヤクロスレブ、ダイナミックな走りになります。ブルーギアシステムも、自慢したい部分です。速も、強も、止まる、を大きく阻むだけの性能にも、しっかりと配慮しました。もともと1.8リットルVTECエンジンの駆動性能を伸ばすため、HEATの場合、さらにこのクルマだけの6速シフトアップギアを投入、トップギアの駆動性能を伸ばしています。そしてギアシステムは、あくまで1.8リットルVTECエンジンの運動性を引き出すことに注目を集めて乗客エンターテインメント、乗客の安全を第一のシフトアップギアを高い剛性とした前後長径タイヤ(15インチ/14インチ)とともに、確かな運動性能とコントロール性を発揮します。真実を証明したい、最新重量ファイナチューニング、マシニング内部の構造などに凝ったパフォーマンスを高く、自信を凝らした独自の技術をもつHEATに、何も負かぬ、誰も負けないクルマです。

